

上海日本人学校浦東校における キャリア教育及び進路指導

前上海日本人学校浦東校教諭

北海道教育大学附属旭川小学校教諭 丸山 賢悟

キーワード：在外教育施設、上海、キャリア教育、進路指導

赴任校の概要（2022年4月1日現在）

学校名・日本語：上海日本人学校浦東校

学校名・現地表記：Shanghai Japanese School Pudong Campus

URL：<http://www.srx2.net.cn/>

児童生徒数 722名（小学部 332名 中学部 390名）

1. はじめに

上海日本人学校浦東校は、上海日本人学校虹橋校の児童数が増大し、受け入れ困難になったため、2006年に、新しく上海市浦東新区に設置された日本人学校の第2キャンパスである。

前身は、日中国交正常化3年後の昭和50年2月7日に発足した「上海補習校」で、週1回の授業を行っていた。その後、全日制の補習校を経て、昭和62年「上海日本人学校」として開設された。その間、中国政治情勢の安定や積極的な開放政策、WTO加盟によって外国企業の投資環境もよくなった結果、在留邦人が増加し、児童生徒数も急激に増えた。

長い間、会社の一部や現地の小学校を借りて教育活動を行ったが、平成8年6月、虹橋校が完成し、さらに平成11年度、児童生徒数は626名となり、増築校舎6教室が完成した。その後、平成17年度は2288名まで急増したため、平成18年度に浦東校が新設され、現在の虹橋校（小学部のみ）と浦東校（小学部と中学部）の2校に分かれた。その後、平成23年に日本人学校初の高等部が設置され3校合わせて上海日本人学校と称されている。

本校の教育は、文部科学省学習指導要領に準拠した初等中等普通教育を施すことを目的としている。また、中国語と英会話を全学年で実施するなど、在外教育施設としての特色も取り入れている。さらに、平成16年度から、国際交流学習も各学年で行っている。

その中で、本校では、卒業生の進学先が、日本国内外の学校が対象となるとともに、世界で1校しかない上海日本人学校高等部への進学も実質的に可能であることから、保護者や児童生徒の進路指導への関心が高い。加えて、近年、キャリア教育の必要性の高まりもあることから、義務教育9年間で系統性をもたせたキャリア教育及び進路指導を実践しているので、その取り組みを紹介する。

2. キャリア教育及び進路指導の実際

(1) 学校経営方針より

児童生徒一人ひとりのキャリア教育の充実を図るとともに、生きる力や夢を育む教育の推進を図る。

(2) 指導目標

将来の夢に向けて、自分のよさを発揮し、人間性を磨く9年間にするための進路指導の実施

→本校での最大9年間の生活、上級学校進学、社会に出るまでの進路は、10年後や20年後の将来の夢の実現に向けてのステップであり、自分のよさを発揮し、学校内外の活動を通して、児童生徒が常に自己を高め

ていこうとする進路指導を実施する。

(3) 重点内容

- ①学習の意味や目的をとらえ、主体的に目標を設定し、その実現に向けて努力する児童生徒を育てる。
- ②夢をもち、夢を語り、その実現に向けて努力する児童生徒を育てる。
- ③自分の将来とのかかわりを考えながら、あらゆる活動に取り組み、その活動を通して自己を磨こうとする姿勢を身に付けさせる。
- ④将来の夢の実現に向けて、様々な活動に参加して自己を磨き、自己の可能性を広げさせる。
- ⑤働くことの意味を知り、社会人としての資質を磨く児童生徒を育てる。
- ⑥キャリア教育の視点に立ち、日常の学習や学校行事や行事的活動などの体験的活動との関連を深めた学年・学級での進路学習を充実させ、より総合的な指導を推進する。
- ⑦自分を見つめ、未来への展望を拓き、現代に生きる自分の課題を追究する児童生徒を育てる。

(4) 進路指導の方針

①小学部

- ア) 児童の発達段階に応じた指導を段階的に行う。
- イ) 小学部主任が中心となり、学級担任との情報交換や連絡を密にしながら指導を行う。
- ウ) 説明会の開催のお知らせによる進学啓発と、学校間との連絡調整を図る。

②中学部

- ア) 生徒の発達段階に応じた指導を段階的に行う。
- イ) 学校・家庭・社会のあらゆる場面が進路学習の場であるという観点に立った指導を行う。
- ウ) 海外であるという特性を生かした進路指導を行う。
- エ) 各家庭・学年・学級相互の情報交換や連絡を密にしながら指導を行う。

学年	ねらい及び主な活動	関連する単元や領域及び学習例
小学 1・2年	○自分の好き（嫌い）なことが言える。 ○返事、あいさつをする。 ○身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。 ○自分のことは自分で行おうとする。	・ぼく・わたしの好きなもの ・友だちたくさんほしいな ・気持ちのよいあいさつ、言葉遣い ・学校探検、まち探検 ・1年生（2年生）になって
小学 3・4年	○生活を支えている身の回りの人に感謝する。 ○自分のよさを見付けるとともに、友達のよいところを認め、励まし合う。 ○外国の人々の生活に関心をもつ。 ○いろいろな職業があることが分かる。 ○将来の夢や希望をもつ。	・生活を支えている人々や高齢者に尊敬と感謝の気持ちをもつ。 ・自分の長所をのびす。 ・外国の文化（仲間っていいな） ・わたしたちのくらし ・正直に明るい心で元気に生活する。

<p>小学 5・6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の長所・短所に気付く。 ○異文化交流を通し、異国文化に親しむと同時に、自国文化と伝統を大切にする。 ○学んだり、体験したりしたことと生活や職業との関連を考える。 ○あこがれとする職業をもち、今、しなければならないことを考える。 ○将来の夢や希望をもち実現を目指して努力しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴を知る。 ・異国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。 ・働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。 ・見つけよう今の自分、将来の自分
<p>すず かけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の得意・不得意や行動の特徴を理解する。 ○多様な集団活動への適応力を高める。 ○場や相手に応じて円滑にコミュニケーションを図る力をつける。 ○学校生活と実生活及び自分の将来との関わりを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解及び必要に応じた適切な支援の求め方 (個別学習) ・交流学級での学習活動や虹橋校・虹の子学級との交流学習 ・個に応じたソーシャルスキルトレーニング (自立活動) ・植物の栽培や調理実習など体験的な活動 (各教科・領域)
<p>中学 1年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○夢や希望を育てる。 ○自己理解を深める。 ○職業や将来の生活についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生としての出発にあたって ・将来の夢について (ドリームマップ) ・自分の個性や長所、適性を知る。 ・身近な大人にインタビュー ・働くことについて考える。 (地域マイスター) ・私の進路計画 ・高校受験体験談を聴く。(3年生の話を聴く会)
<p>中学 2年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい職業観を形成する。 ○進路計画を立案する。 ○夢の実現に向け、自分作りを進める。 ○進路情報を収集する。 ○夢の実現に向けた学習計画やライフプランを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長所を伸ばし、短所を補う努力をする。 ・自分の適性や個性についてさらに見つめる。 ・学習、進学の意味や目的を考える。 ・働くことについて考える。 (宿泊学習：企業訪問・理科特別授業) ・高校受験体験談を聴く (3年生の話を聴く会) ・進路選択の吟味と検討 ・上級学校調べをする。
<p>中学 3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の個性・適性・夢に基づいた適切な進路を主体的に選択する。 ○夢の実現に向けた学習計画やライフプランを実行する。 ○受験に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活の更なる充実 ・自分の適性・個性に合った進路先の選択と決定 ・進路目標づくり ・受験期と健康 ・受験・選考の手続き ・受験の心構え

	○他者の受験体験を聴き自分を見つめ直す。	・高校受験体験談を聴く・話す。 (3年生の話を聴く会)
--	----------------------	--------------------------------

※その他、全学年を通し、各教科学習、総合的な学習の時間（交流学习や校外学習・修学旅行等も含む）、中国語・英会話の語学学習、各行事などに積極的に取り組み、進路学習に生かす。

(5) 進路指導委員会

校長・教頭・教務主任・中学部主任・小学部主任・進路指導主任・旧進路指導主任・中学部各学年主任からなる進路指導委員会を設置する。各学年の進路指導(進学・推薦等)について企画・実施状況などの連絡、調整を図る。

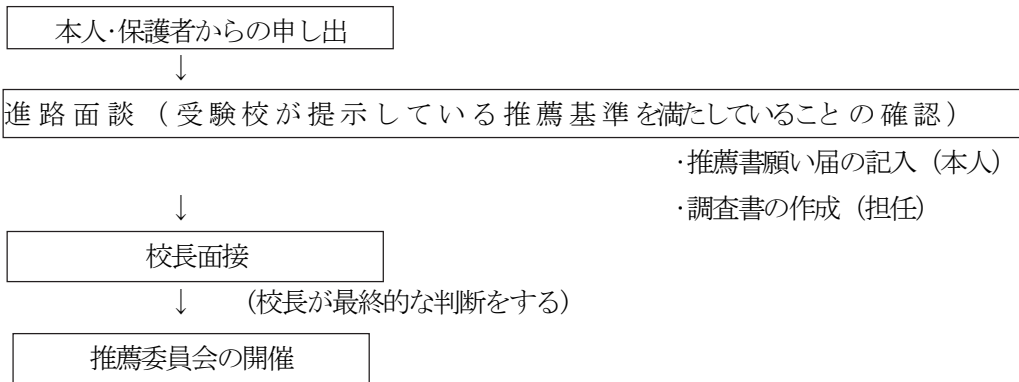
①推薦委員会の開催

本人・保護者から推薦入試での受験申し出があり、受験校が提示している推薦基準【調査書の評定、人物、行動の記録、資格(英検・漢検・その他)】をクリアしていることを前提に推薦の検討を行う。

②推薦委員会の構成委員

校長・教頭・教務主任・中学部主任・小学部主任・進路指導主任・中学部各学年主任、必要に応じて、当該の教員も参加する。

③推薦手続きの流れ



(6) 進路指導年間計画 (小6～中3)

月	小6	中1 中2	中3
4月	-指導方針の決定 -進路説明会①	-指導方針の決定 -進路説明会①	-指導方針の決定 -進路説明会①
5月	-学年・学級懇談会 -学校説明会	-学年・学級懇談会 -学校説明会	-進路希望調査① -学年・学級懇談会 -学校説明会
6月	-進路説明会② -進路希望調査① -学校説明会	-進路説明会② -学校説明会	-進路説明会② -進路希望調査② -学校説明会
7月	-個人懇談会 -学校説明会	-個人懇談会 -進路学習(視野について) -学校説明会	-個人懇談会 -進路学習(視野について) -高等部学校説明会 -学校説明会
8月	(-上級学校見学) -学校説明会	(-上級学校見学) -学校説明会	(-上級学校見学) -学校説明会
9月	-学校説明会	-学校説明会	-学校説明会 -進路希望調査③ -進路面談(三者)開始 -出願書類作成開始
10月	(-上級学校見学) -進路説明会③	(-上級学校見学) -進路説明会③	(-上級学校見学) -進路説明会③ -進路面談(三者) -進路学習(作文・面接) -面接・作文指導開始 -海外入試開始
11月	-進路希望調査② -面接・作文指導開始		-現地校入試開始 -高等部内部専願出願 -進路希望調査④ -進路面談(三者) -補習開始
12月	-帰国・推薦入試開始 -個人懇談会	-個人懇談会 -地域マイスター(中1)	-帰国・推薦入試(私立)開始 -高等部推薦入試 -進路面談(三者)
1月	-一般入試開始	-進路学習(アンケート) -ドリームマップ(中1)	-推薦入試(公立/国立)開始 -進路面談(三者) -高等部一般入試 -進路学習(アンケート)
2月		-三年生の話を聴く会	-一般入試開始(私立/公立/国立) -三年生の話を聴く会
3月	-入学手続き	-進路学習まとめ	-入学手続き

3. おわりに

上海日本人学校浦東校では、総合的な学習の時間や特別活動でキャリア教育及び進路指導を行うこともあるが、その多くは、各教科・領域で学んだことと関連付けながら、日々の教育活動全体を通して行っている。新型コロナウイルスの影響で、オンライン授業が増え、特に、受験生や保護者は、進路に不安を抱えることが多くなったが、日常から児童生徒への指導や相談ができる体制を学校として整えることで、対応してきた。

今後も、「キャリア・カウンセリング」の視点や「キャリア・パスポート」の活用などの手立てを講じながら、児童生徒が、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力を身に付け、自分の未来を見据えて力強く生きていくことができるよう、指導にあたりたい。